

令和元年度  
事業報告書

自 平成31年4月 1日

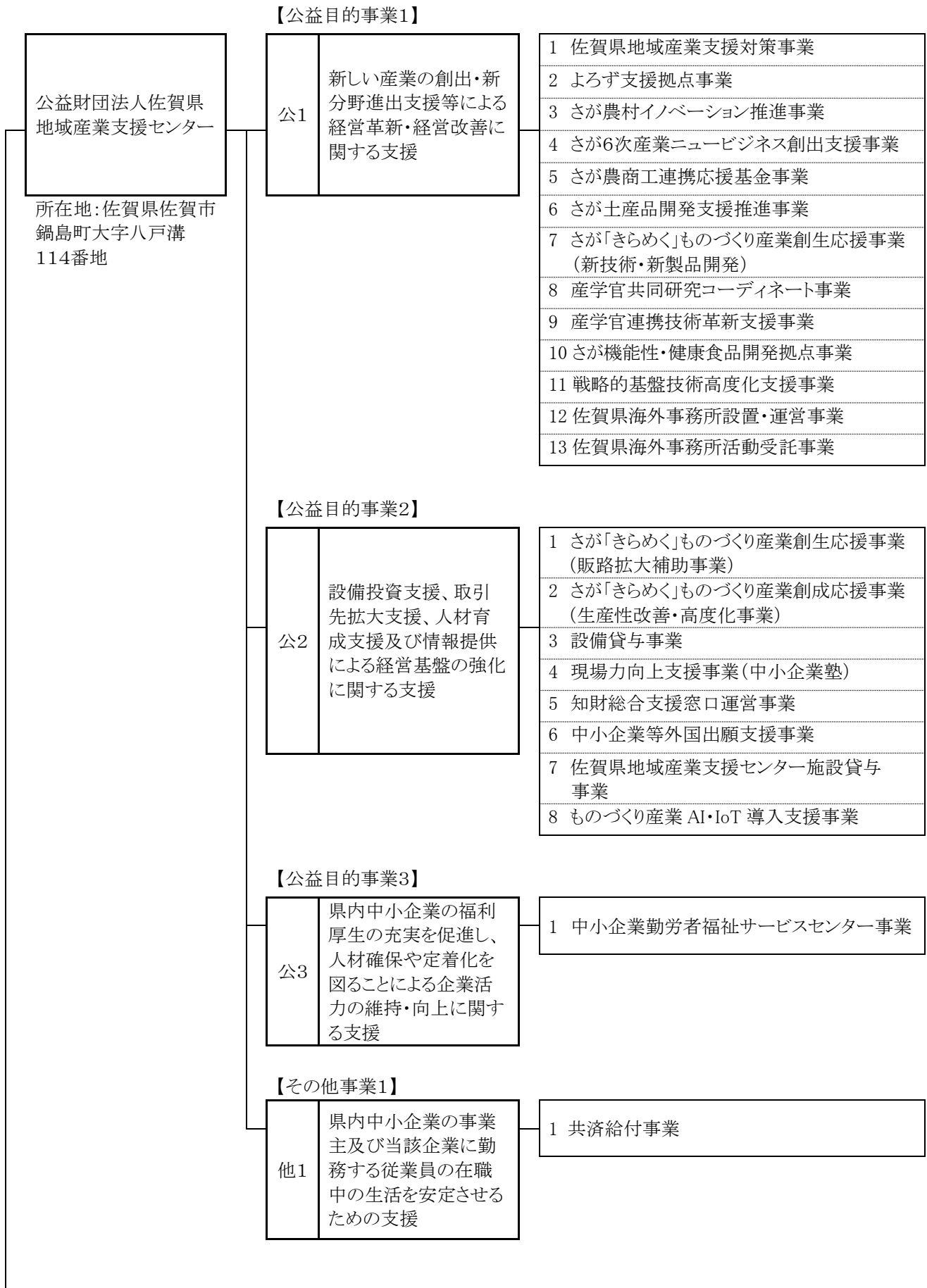
至 令和2年3月31日

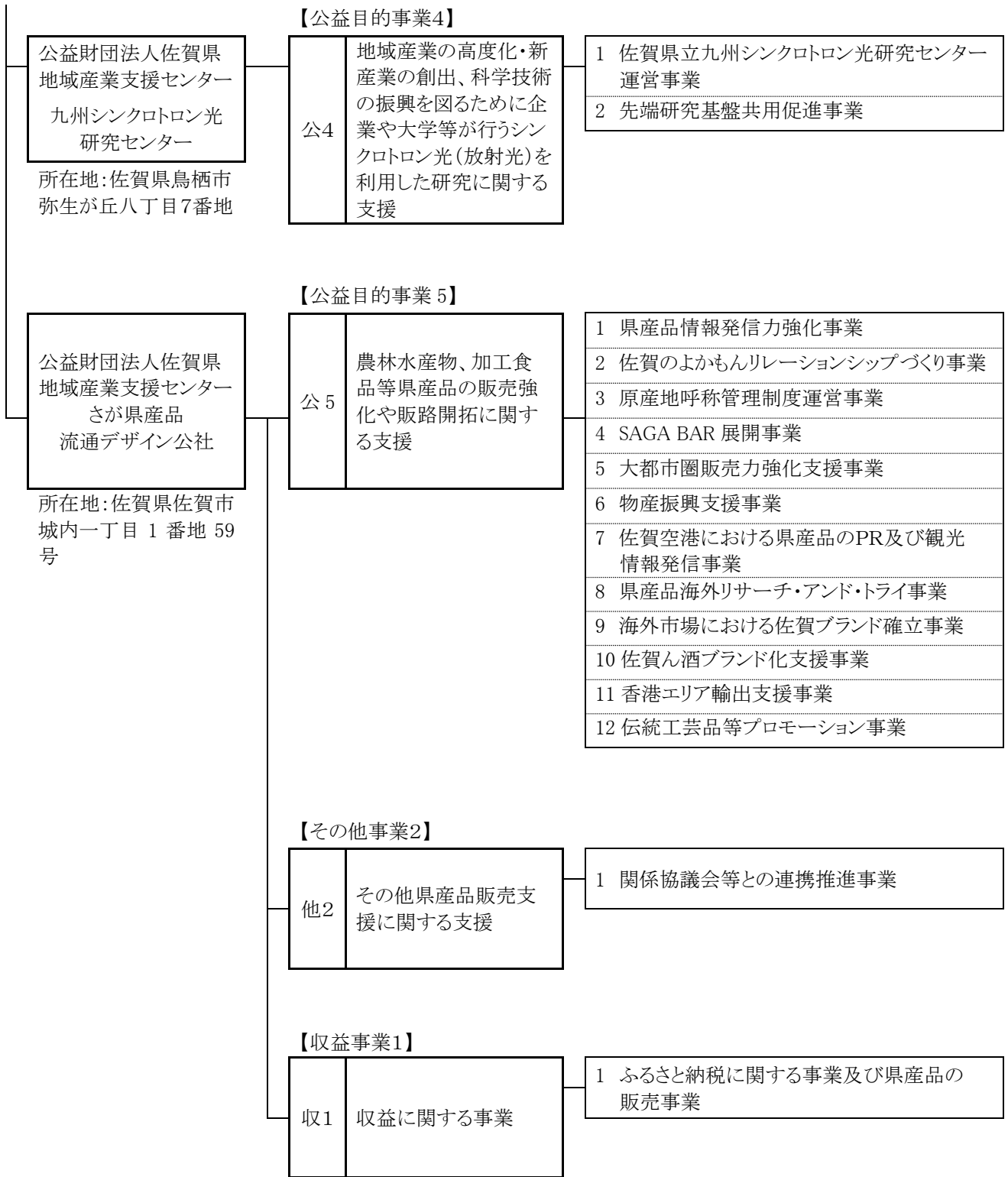
公益財団法人佐賀県地域産業支援センター

# 目 次

第1	令和元年度事業体系	1
第2	令和元年度事業報告	3
1	新しい産業の創出・新分野進出支援等による経営革新・経営改善に関する支援（公1）	3
2	設備投資支援、取引先拡大支援、人材育成支援及び情報提供による経営基盤の強化に関する支援（公2）	19
3	県内中小企業の福利厚生の実を促進し、人材確保や定着化を図ることによる企業活力の維持・向上に関する支援（公3）	27
4	県内中小企業の事業主及び当該企業に勤務する従業員の在職中の生活を安定させるための支援（他1）	28
5	地域産業の高度化・新産業の創出、科学技術の振興を図るために企業や大学等が行うシンクロトロン光（放射光）を利用した研究に関する支援（公4）	29
6	農林水産物、加工食品等県産品の販売強化や販路開拓に関する支援（公5）	32
7	その他県産品販売支援に関する支援（他2）	37
8	収益に関する事業（収1）	38
第3	庶務事項	39
	（1）理事会	39
	（2）評議員会	40

# 第1 令和元年度事業体系





## 第2 令和元年度事業報告

### 1 新しい産業の創出・新分野進出支援等による経営革新・経営改善に関する支援（公1）

#### 【事業の趣旨】

県内中小企業の振興を図るため、佐賀県内の経済及び雇用を実質的に支えている中小企業に対し、新しい産業の創出や新分野進出に対する支援、また、経営革新や経営改善に関する支援を行う。

#### 【事業の構成】

本事業は、次の13の事業から構成される。

- (1) 佐賀県地域産業支援対策事業
- (2) よろず支援拠点事業
- (3) さが農村イノベーション推進事業
- (4) さが6次産業ニュービジネス創出支援事業
- (5) さが農商工連携応援事業
- (6) さが土産品開発支援推進事業
- (7) さが「きらめく」ものづくり産業創生応援事業（新技術・新製品開発）
- (8) 産学官共同研究コーディネート事業
- (9) 産学官連携技術革新支援事業
- (10) さが機能性・健康食品開発拠点事業
- (11) 戦略的基盤技術高度化支援事業
- (12) 佐賀県海外事務所設置・運営事業
- (13) 佐賀県海外事務所活動受託事業

#### 【公1個別事業の内容】

##### (1) 佐賀県地域産業支援対策事業 [23,305,593円：佐賀県補助事業]

《担当部署：経営改善支援課》

県内における創業・ベンチャー・経営革新・経営改善を促進するため、中小企業者の経営資源の充実・強化及び新事業創出を促進する体制を整備し、支援を行った。

#### ア 支援体制整備事業

経営指導の経験を持つマネージャー（1名）やITコーディネータ（1名）を配置し、創業者、ベンチャー企業、経営革新・経営改善を目指す企業から様々な経営課題の相談を受け、90社に対し、延265回の課題解決に向けたビジネスプランブラッシュアップ、アドバイス等の支援を行った。

[主な支援内容及び企業数]

- ・ものづくり企業の経営体質強化・人材育成…10社
- ・ICT活用による業務改善…18社 等

#### イ 専門家派遣事業

意欲的な中小企業者の情報化や経営改善に係る諸施策等に関する課題に応じて、民間の専門家を派遣し、診断・助言を行った。

- 派遣企業数：13社・派遣日数：71日

経営改善	品質管理	労務管理
8社	4社（延5件）	1社

- ミラサポ事業（中小企業庁事業の派遣窓口として機能）を活用して専門家派遣を実施。 派遣企業数：3社 派遣日数：4日

経営革新	I T活用	創業	地域資源	販路開拓	商品開発	人材育成
0社	1社	0社	0社	2社	0社	0社

## ウ ベンチャー交流ネットワーク事業

ベンチャー企業や起業家・創業希望者等の相互の情報交換及び産学官の各種専門家や近県ベンチャー企業との交流等を通して事業提携、事業協力の機会等を提供した。

### 【開催内容】

- 総会（R1.5.16）ホテルマリターレ創世佐賀（佐賀市） 参加者 74名
- 第1回例会（R1.5.16）（佐賀市） 参加者 101名
  - ・講演『世界の課題と地域の未来～佐賀からSDGsを考える～』  
講師 梁井 裕子氏（一般財団法人CSOネットワーク）
  - ・関係機関事業紹介  
中小企業基盤整備機構九州支店：ウェブマッチングサイト「J-GoodTech」の案内  
日本政策金融公庫佐賀支店：融資制度の案内
- 第2回例会（R1.8.26）ホテルマリターレ創世佐賀（佐賀市） 参加者 71名  
※第2回の例会は、女性限定の参加イベント
  - ・佐賀県における九州女性起業家活躍推進事業イベント「プティ LE ピエール」の開催
    - ①オープニングトーク テーマ『#女性起業 飛び出せ Saga』  
（有）二葉 荒川国子氏、合同会社アイ.ジー.シー 宮脇恵理氏、  
（一社）女性起業家スプラウト 理事長 松永幸子氏、  
（一社）女性起業家スプラウト 佐賀代表 大山加奈恵氏
    - ②ロールモデルとして、5人の女性起業家によるプレゼンテーション  
（有）佐賀情報ビジネス 江島光代氏、（有）嬉乃すし 加藤久美子氏、  
サガプリンティング㈱ 山下定美氏、県議会議員・フリーアナウンサー  
一ノ瀬裕子氏、クラファン㈱ 野口みき氏
    - ③カフェトークと記念撮影
- 第3回例会（R1.11.12）ホテルマリターレ創世佐賀（佐賀市） 参加者 76名  
※第3回の例会は、「さがラボチャレンジカップ2019」（ビジネスコンテスト）表彰式を組み込んだ。
  - ・講演『地域経済が目指す未来の形』 藻谷 浩介氏  
（株式会社日本総合研究所主席研究員）
  - ・「さがラボチャレンジカップ2019」（ビジネスコンテスト）  
表彰式次項ビジネスプランコンテスト参照
  - ・「さがラボチャレンジカップ2019」受賞者プレゼンテーション

○第4回 (R2.2.25~26) 佐賀市文化会館 (佐賀市) (開催中止)

※第4回例会は、「佐賀産業フェスタ 2020」と題し、展示会を行う予定で進めていたが、新型コロナウイルス感染症拡大を受けて、開催中止。

□ビジネスプランコンテスト「さがラボチャレンジカップ 2019」

(佐賀県との共催、今年で5回目)

・一次審査：令和元年8月20日(火)～9月17日(火)

応募総数17件のうち上位8件を一次審査通過者として選定

・二次審査：令和元年10月3日(木)

8件のプレゼンテーションを実施後、受賞対象者を選定

最優秀賞：株式会社九州コーユー

『「子どもがプログラミングを楽しく学べる」教材を佐賀から全国へ』

優秀賞：株式会社山城機巧

『座圧軽減装具：フワットの開発と販売』

審査員特別賞：株式会社E&I

『産前・産後女性向けケアサービス』

審査員特別賞：C. MARIE

『フランス人がデザインし、フランス製生地を使い地元の職人さんの技術で造るバッグを日本・世界に広める』

・表彰状授与式：令和元年11月12日(火) 第3回例会と併催

□展示会への共同出展

・(一社)九州ニュービジネス協議会とタイアップしたイベントにおける出展及び商談会を行い、九州財界とのつながりを持つことができた。

・九州・山口ベンチャーマーケットに参加。(10/7)参加会員の販路拡大はもとより、佐賀県ベンチャー交流ネットワークの知名度アップに繋がっている。

・令和元年度日台産業協力架け橋セミナー「ベンチャープラザ in 台湾」に参加(12月)

⇒ 出展商談：幸楽窯

・佐賀県トライアル倶楽部首都圏商談会に3社の会員(KMTec、谷田建設、A-noker)を出展。関東エリアの企業とのマッチングにより後日訪問・商談を展開した。(12月、1月)

・『チャリティちいクラ(千葉県被災者支援イベント)』サイボウズ主催(10/15)

・ダイハツ中津工場での展示会への出展(9/18)

□会員勉強会

・「会計セミナー(中期経営計画立案教室)」

(4/17、6/18、8/6、9/17、10/2、10/9の6回計画)

・「クラウドファンディング合同起案」(6/6、10/24の2回開催)

・SNSセミナー『がばいWEB集客 in SAGA』(6/17~18、10/25)

『ペライチセミナー』(5/1、7/4)

・『防災セミナー』(5/8)

・『未来経営創造塾』九州各県持ち回りで開催。(一社)九州ニュービジネス協

## 議会主催

### □街づくり参画

- ・小城市まちづくりプロジェクト（Base Ogi）への参画（6/1 始動～）  
小城市の要請を受け、7月のプレオープンに向けゼロベースから立ち上げに貢献した。

### □産学官民金の取り組み

- ・佐賀大学とのコラボ事業提案中  
（㈱オプティム・木村情報技術㈱に次いで3事例目）  
クラファン㈱と佐賀大学リージョナルセンターとのマッチング

### □SDGs 関連の取り組み

- ・九州 SDGs 経営推進フォーラム 設立総会（2/3）  
佐賀県ベンチャー交流ネットワークとして入会
- ・佐賀 SDGs 官民連携円卓フォーラム（後援）（2/27）

### □女性起業家支援の取り組み

- ・『女性起業家応援セミナー』参加（7/19、11/6、11/14、12/2、12/12、12/16）
- ・『女性トレンドセミナー』参加（5/29）
- ・九州女性起業家応援イベント（LED九州 in 熊本）に出展。（1/22）

## （2）よろず支援拠点事業 [65, 636, 069 円：国委託事業]

《担当部署：経営改善支援課》

中小企業や小規模事業者、創業予定者等の様々な課題に対応するため、国の採択を受け「よろず支援拠点」を当財団内に設置し、事業計画や販路開拓、商品開発、IT利活用、海外展開など幅広い分野の専門家を配置し、課題解決の支援を行った。

### ア 相談内容及び業種

チーフコーディネーター1名、コーディネーター9名を配置し、531社、4,635件の相談に対応した。

#### ○相談内容

I T活用	2,194件
デザイン（広告・商品）	1,045件
経営知識	501件
施策活用	354件
事業計画策定	151件
資金繰り	143件
その他	247件
合計	4,635件



○相談者業種

1次産業	農林漁業	292件
2次産業	製造業	928件
	建設業	155件
3次産業	サービス業	1,248件
	卸売業・小売業	812件
	医療・福祉	600件
	宿泊業・飲食サービス業	428件
	その他	172件
合計		4,635件

イ セミナー開催

経営課題の解決やセミナー受講者を相談事業に誘引することを目的にセミナーを開催した。

○当拠点のコーディネーターや、よろず支援拠点全国本部サポーター等によるセミナーを7回開催した。

①令和元年5月	もう逃げられない！働き方改革が始まった！
②令和元年6月	小さなお店と社長のための月一会計
③令和元年7月	ブランディングにおけるロゴの役割
④令和元年9月	業績アップの鍵！Google マイビジネスの活用
⑤令和元年10月	ネット上の広告のすべてとその活用方法
⑥令和元年11月	I Tを活用した生産性向上セミナー
⑦令和2年1月	事業承継セミナー

ウ サテライト設置・どこでもよろず

相談者の利便性向上や新たな相談者の発掘を目的に、サテライト相談所を県内6カ所（唐津市、伊万里市、鹿島市、嬉野市、みやき町、有田町）設置し、930件の相談対応を実施した。

また、新たな相談者の発掘やよろず支援拠点事業の周知を目的とした出張相談先「どこでもよろず」を、県内118カ所登録して相談対応を実施した。

**(3) さが農村イノベーション推進事業 [28,673,017円／佐賀県委託事業]**

《担当部署：農村ビジネス振興課》

県内の豊富な農林水産物等の付加価値づくりや農山漁村にある資源・魅力を活かした農村ビジネスを推進するため、当センター内に「さが農村ビジネスサポートセンター」を設置し、コーディネーターによる相談やプランナー派遣による個別支援や研修会、交流会を開催した。

ア 農村ビジネスに関する個別相談、支援

コーディネーター4名を配置し、のべ516件の相談対応を行うとともに、相談内容に応じて、113件のプランナー派遣を行った。このような支援を通じて、農村ビジネスの新たな取り組みが16件成立した。

【相談内容】

事業計画	185 件	36%
新商品開発	89 件	17%
販売戦略	80 件	15%
加工製造	37 件	7%
品質管理	31 件	6%
マーケティング、ブランディング	13 件	3%
その他（デザイン等）	81 件	16%
合計	516 件	100%

【業種別】

農林漁業者	286 件	55%
農業法人	128 件	25%
組合等	43 件	8%
行政	20 件	4%
企業	11 件	2%
個人	5 件	1%
その他	23 件	5%
合計	516 件	100%

イ 研修会の開催

① 令和元年 8 月 9 日

人材育成研修会『次につながる農業・・・後継者のカタチ』

○講演：次の世代を育むため、わが家のミルクにできること

講師：㈱オオヤブファーム 代表取締役 大藪裕介氏

○トークセッション：6次産業が家族経営にもたらしたもの

パネリスト：大藪裕介氏（㈱オオヤブファーム）

吉原龍樹氏（TOMMY BEEF（トミービーフ））

② 令和元年 6 月 4 日、8 月 21 日、9 月 24～25 日

実践研修会『展示商談会を成功させるための商談スキルアップ講座』（全 3 回）

○対象：アグリフード EXPO 東京への出展を目指す実践者

○内容：第 1 回 展示商談会出展の準備や心得

第 2 回 出展当日の現地研修、フォロー

第 3 回 出展終了後のフォローアップ

○講師：6次産業化中央プランナー 生稲芳高氏、清水由紀子氏

③ 令和元年 10 月 9 日

視察研修会（バスツアー）

○「FOODEXPO Kyushu2019」（福岡国際センター、福岡市博多区）

○「観光果樹園（マルヤスリンゴ園）の取り組み」（佐賀市三瀬村）

④ 令和元年 9 月 12 日、11 月 27 日

農産物直売所研修会（全 2 回）

○内容：第 1 回 農産加工品の食品表示制度、加工食品の栄養成分表示義務化について

講師：佐賀中部保健福祉事務所  
 第2回 現地研修「筑前町ファーマーズマーケットみなみの里の取り組みについて」（福岡県朝倉郡筑前町）

ウ 交流会の開催

① 令和元年12月6日

異業種交流会『異業種との連携による新たな展開のために』

○アグリフードEXPO大阪出展予定者による意見交換

**(4) さが6次産業ニュービジネス創出支援事業 [82,111,787円：佐賀県補助事業]**

《担当部署：ものづくり振興課》

地域農林水産物の高付加価値化や新たなビジネス創出を促進し、地域経済の活性化を図るため、6次産業化の取組を行う企業（2次・3次産業事業者）を選定し、加工・販売用施設設備の整備等の実現に向けた支援を行った。

○令和元年度支払対象事業

【平成30年度採択事業】

(単位：円)

事業者	事業計画のテーマ	交付決定額
		R1支払額
(有) 玉喜	県内初 HACCP 対応新工場で業務用海苔特化生産ラインの設置により、佐賀海苔ブランドの拡大に取り組む。業務用海苔生産特化ラインにおいて、新たな設備、生産方式を導入し、海苔本来の色・香り・旨味を向上させる。コンビニエンスストアと連携し、コンビニおにぎりの販売や大手商社を通じた販売ネットワークを活用し、佐賀海苔ブランドの構築を目指す。	79,657,000
		79,657,000

【令和元年度支払額合計】

79,657,000円

**(5) さが農商工連携応援基金事業 [32,722,000円：基金事業]**

《担当部署：ものづくり振興課》

県内中小企業と農林漁業者が互いの経営資源を有機的に連携し、農林水産物等を活用した新商品・新技術等の開発の取り組みを支援した。

募集は平成30年度で終了。令和元年度は、前年度採択した案件の管理と事業全体の整理を行った。

【参考】

ア 補助対象者 中小企業者と農林漁業者との連携体

イ さが農商工連携応援基金造成

基金造成額 25.2億円

(うち県借入金 20.1億円、地場金融機関 5.1億円)

ウ 基金果実により以下の事業を補助

○新商品開発等支援事業

新商品の開発、新役務の提供、試作品開発、展示会出展等に要する経費への補助

・補助限度額 500万円

・補助率 2/3以内

○令和元年度支払対象事業

【平成 29 年度採択事業】

(単位:千円)

事業のテーマ	連携体の構成		役割	交付決定額
				R1 支払額
アスパラガスの加工 品開発計画	中小企業者	(有)サガ・ビネガー (佐賀市)【製造業】	アスパラガスを活用した酢の製造	3,126
	農林漁業者	安東浩太郎 (太良町)【農業】	今回の研究開発に適したアスパ ラガスの栽培と製品の評価、販売 方法の確立	
				3,126
				① 3,126

【平成 30 年度採択事業】

(単位:千円)

事業のテーマ	連携体の構成		役割	交付決定額
				R1 支払額
基山町特産品を 使用した「基山 ブランド食品」 の開発	中小企業者	サンポー食品(株) (基山町)【製造業】	基山町の特産品を使用した試作、商 品化、製造、販売までの業務	2,554
	農林漁業者	(株)基山ファーム (基山町)【畜産業】	基山町の耕作放棄地を利用したキク イモの栽培及びメニュー肉の提供	
インバウンドに向 けた「古伊万里ブ ランド」のセットメ ニュー開発事業	中小企業者	伊万里アグリファーム(株) (伊万里市)【製造業】	ねぎ原料のカット、乾燥、粉砕、微生 物検査、水分分析など品質の安定化 研究 ねぎ麺、スープ、ソースの開発全般と 運営支援及び事業化に向けた生産 体制や販路開拓などに関する業務	2,294
	農林漁業者	伊万里市農業(協) (伊万里市)【農業】	伊万里ねぎの規格外品の集荷、選 定をはじめ、加工食品の開発に関す る全般的な業務	
野菜(特にかぼ ちゃバターナッツ) の持つ特性を生 かした、飲料水と 加工食品の研究 開発	中小企業者	(同)田島柑橘園&加工 所(太良町)【製造業】	野菜の加工技術指導	1,335
	農林漁業者	松本修二 (鹿島市)【農業】	かぼちゃ(バターナッツ)の栽培技術 キュウリ、ゴーヤ等その他本事業に活 用可能な野菜の栽培技術	
嬉野茶を活用した お菓子の開発	中小企業者	井上賢一郎 (嬉野市)【製造業】	菓子に適した茶葉の品質確保の方 法の研究および販売方法の確立	4,747
	農林漁業者	三根孝一 (嬉野市)【農業】	嬉野茶を活用した新規のお菓子の 製造および販売方法の確立	
佐賀県産豚を原 料とした熟成肉の 試作開発及び熟 成方法の確立	中小企業者	(有)ふるさと倶楽部 (唐津市)【製造業】	佐賀県産豚を原料とした長期熟成肉 の作成方法の研究	4,996
	農林漁業者	(有)よしい (唐津市)【畜産業】	原料豚の供給	
むらおか農園独自 ブランドの”玉様の イチゴ”を活用した お土産(焼菓子) の開発	中小企業者	次富あすか (小城市)【製造業】	試作・レシピ開発	2,731
	農林漁業者	唐島 晶悟 (江北町)【農業】	イチゴの加工用保存方法の研究及 び新商品の販売方法の確立	
佐賀県産ヒノキを 活用したオフィス や商業空間向け 業務用家具シリー ズの開発と販路開 拓	中小企業者	レグナテック (佐賀市)【製造業】	ヒノキ材の特性を生かした商品企画、 デザイン設計、試作、評価、販売戦 略の企画、実践	4,608
	農林漁業者	太良町森林組合 (太良町)【林業】	家具用資材としてのヒノキ材の選別、 製材加工全般	

事業のテーマ	連携体の構成		役割	交付決定額
				R1 支払額
県産ボタニカル (ハーブや果皮) を活用した唯一無 二のジャパニーズ クラフトジンの開発	中小企業者	(資)光武酒造場 (鹿島市)【製造業】	県産ボタニカルを活用した世界で戦 えるジャパニーズクラフトジンの製造 及び販売方法の確立	3,871
	農林漁業者	(同)田島柑橘園&加工 所(太良町)【農業】	柑橘果物、果皮	
	農林漁業者	岡宏圭 (鹿島市)【農業】	柑橘果物、果皮	
平成 30 年度採択分 計				27,136
				② 27,136

【令和元年度支払額合計】

①+② 30,262 千円

## (6) さが土産品開発支援推進事業 [19,350,441 円：佐賀県委託事業]

《担当部署：経営改善支援課》

佐賀を訪れた人が買いたくなる、人に勧めたくなるような魅力的な土産品の創出を  
図るため、県内の事業者に対し、土産品の商品開発から流通・販売・情報発信まで一  
貫した支援を行った。

### ア コンサルティング支援

企業・商品のブランディング、土産品の商品開発から流通・販売、情報までの一  
貫したコンサルティングを受ける企業を募集し、選定された事業者に対する支援を  
行った。

令和元年度は、平成30年度に第3期として採択した次の3事業者に対し、3～  
6回のコンサルティングを実施した。

#### ○対象事業者

- ①丸秀醤油(株) (食品) / 佐賀市高木瀬西
- ②(有)平川食品工業 (食品) / 武雄市北方町大字志久
- ③(有)忠兼総本社 (その他) / 佐賀市高木瀬町

○期間：平成31年4月1日～令和2年3月31日

○コンサルティング実施者：(株)中川政七商店

### イ 成果発表会

土産品開発等に係るコンサルティングの報告会の開催実績の概要

開催日時	会場	参加者 (業種・人数)	内容 (事例、成果等)	備考
2020.03.02	ホテルマリ ターレ創世 佐賀	118名 (応募者数)	第3期生の成果発表(丸秀醤油、平川 食品工業)、中川政七会長による公開 フィードバック及び、第1期、第2期 生の現状報告及び今後の展望(第1期 生→鶴屋、名尾手すき和紙、虎仙窯) (第2期生→蔵出しめんたい本舗、川 原食品(株)、(有)篠原溪山)	新 型 コ ロ ナ ウ イ ル ス 感 染 拡 大 を 受 け て、 中 止 と な っ た

開催日時	会場	参加者 (業種・人数)	内容(事例、成果等)	備考
2020.03.27-31	オンライン配信 (YouTube)	3/2の応募者118名へのお知らせのほか、コトミチ受講生、財団のHPでの告知	第3期生の成果発表会(丸秀醤油、平川食品工業)2社のコンサルタント(野村亮介氏、堅田佳一氏)による1年間のふりかえり。コンサルタント2名と中川政七会長の3名でのトークセッション。最後に中川政七会長の総評。	3/2に中止となった成果発表会に代えて、オンライン配信による成果発表を行った

(7) さが「きらめく」ものづくり産業創生応援事業(新技術・新製品開発)

[21,792,067円:佐賀県補助事業]

《担当部署:研究開発振興課》

佐賀県においてものづくり産業に携わる中小企業者が行う新技術開発や新製品開発の取り組みに対して支援した。

(ア) 新技術開発分野(5件)

事業者名	テーマ	交付決定額 (千円)
有限会社古千製陶所	デジタルデザインツールと色泥漿を用いた技術開発により、これまでなかった有田焼の商品展開を可能にする	2,299
コトブキテクレックス株式会社	佐賀県産大麦を使った麦芽開発(佐賀産モルト100%クラフトビール、ウイスキー醸造を念頭に)	1,834
株式会社匠	伝統技術と電磁気的効果を併用した陶磁器の革新的製造技術の開発	1,112
森鉄工株式会社	多軸油圧サーボプレス用サーボコントロール制御装置の開発	1,798
レグナテック株式会社	木製家具に適した水性塗料の活用技術の確立	1,692

(イ) 新製品開発分野(5件)

事業者名	テーマ	交付決定額 (千円)
株式会社大橋	欧州レンタル業者向け高耐久樹木粉碎機の開発	1,539
株式会社海洋開発技術研究所	中山間地域における小水力発電のための無動力除塵型取水装置の開発	2,379
共立エレックス株式会社	全固体型リチウムイオン電池の電解質材料及び基板の量産技術開発	4,137
株式会社KMTeC	国産リチウムイオン電池を用いた災害時用蓄電システムの開発	3,413
株式会社大慶	火加減いらずの「ご飯鍋」の開発	1,576

## (8) 産学官研究コーディネーター事業 [5,474,536円：佐賀県補助事業]

《担当部署：研究開発振興課》

新技術の開発や新産業の創出を促進するため、県内企業のニーズと大学・公設試等のシーズをマッチングするコーディネーターを配置し、産学官の共同研究等を支援した。

ア プロジェクト相談・推進等 合計 延べ 1,201件

【内容】・技術相談 138件

・プロジェクト・補助金相談 250件

・プロジェクト推進 400件

・シーズ及びニーズ調査 170件

・その他 243件

イ 研究プロジェクトの企画提案支援 12件

・さが「きらめく」ものづくり産業創生応援事業

新技術・新製品開発補助事業費補助金 12件

ウ 表彰制度への推薦等 合計 6件

・新グローバルニッチトップ企業100選 1件

・第6回佐賀さいこう企業表彰 3件

・地域未来牽引企業 2件

## (9) 産学官連携技術革新支援事業 [5,270,511円：佐賀県補助事業]

### ア 研究会活動事業

《担当部署：研究開発振興課》

佐賀県内に新たな産業の創出を図るための活動を行う事業者への助成について、1件を採択した。

○事業者名：一般社団法人 量子医療推進機構

テーマ：鳥栖を中心とした量子医療推進クラスターの構築を目指し、次世代のがん治療法開発に取り組む研究者、研究機関等の「連結」「編成」を推進することにより、希少がん・小児がんの最適治療法開発のための「先端的な研究開発連携プラットフォームの構築」「先進的放射線（量子）治療技術の実証インフラの整備」「医療機器産業並びに創薬産業の集積・展開」を実現することを目指して、①研究開発テーマ発掘・形成支援②研究開発推進支援③研究開発成果普及支援④人材育成支援を展開していく。

### イ 知財ビジネスマッチング支援事業

《担当部署：知財支援室》

特許流通コーディネーターを配置し、県内中小企業への知的財産に関する普及啓発を行うとともに、技術移転等の支援により新技術・新商品開発の推進を図った。

大手企業が保有する「開放特許」を活用して新製品開発や新事業展開等へと繋げるため、知財ビジネスマッチングセミナーを開催して、県内中小企業に対し、大企業の開放特許の紹介や個別面談機会を提供して支援を行った。

(ア) 企業訪問等による支援

○特許流通コーディネーター1名を配置し、特許流通支援事業、特許等情報提供事業、指導・相談等を行った。

○支援件数 延べ 245件

(イ) 知財マッチングセミナーさが2019の開催

○開催日：令和元年10月9日

○開催場所：グランデはがくれ

○講演内容：講演Ⅰ 「開放特許を活用した中小企業の新ビジネス創出」  
有限責任監査法人トーマツ シニアマネージャー  
吾妻 勝浩 氏

講演Ⅱ 「大企業等による開放特許技術紹介」  
富士通(株)、(株)リコー、佐賀大学理工学部

○参加人数：44人

(ウ) 大企業等と県内企業との個別面談会の開催

○上記セミナー終了後、富士通(株)、(株)リコー、佐賀大学理工学部との個別面談会を実施。

○参加企業：4社

## (10) さが機能性・健康食品開発拠点事業 [36,676,728円：佐賀県補助事業]

《担当部署：研究開発振興課》

県内において、付加価値の高い新産業（機能性食品・化粧品分野）の創出・集積を図るため、県内中小企業等が行う新製品・新技術開発を支援した。また、3名の新産業創出研究員により、基盤的な研究開発や企業からの依頼分析等を行った。

### ア コーディネート事業

2名のコーディネーターにより、企業ニーズの掘り起し、研究者シーズとのマッチング、共同研究支援から新商品企画までつながるコーディネート活動事業を行った。

・技術相談、シーズ・ニーズ調査等 570件

### イ 情報提供活動

事業普及シンポジウム等の開催 2回（延べ102名が参加）

① 令和元年10月29日

セミナー「～佐賀のチカラ 食のチカラ～」

・「機能性食品を取り巻く最近の動向-消費者が期待する食品の機能性は?-」

講師：花王(株)ヘルスケア食品研究所 所長 桂木能久 氏

・「どうして日本の果物はおいしいのか？」

講師：国立大学法人佐賀大学農学部 准教授 古藤田信博 氏

② 令和2年2月19日

シンポジウム「～食のチカラ 地域素材のミリョク～」

・「西南諸島の地域素材を生かした商品開発の取り組み」

講師：国立大学法人琉球大学 熱帯生物圏研究センター教授  
屋 宏典 氏

・「機能性表示食品制度の現状と課題」

講師：公益財団法人日本健康・栄養食品協会 機能性食品部長  
菊池 範昭 氏

### ウ トライアルユース補助事業

県内中小企業等が「さが機能性・健康食品開発拠点」等を利用し、機能性・健康食品の開発に取り組みやすくなるよう、初期段階の研究に係る経費の一部を補助した。



- ① 美白化粧品素材としての利用を目指した佐賀県唐津市産白イチゴ葉の機能評価と品種選抜
- ・事業者名：手島農園
  - ・確定額：159,000円
  - ・補助期間：令和元年8月26日から令和2年1月15日まで
  - ・研究概要  
佐賀県唐津市産白イチゴ葉の抽出物から化粧品素材として安定して美白効果が得られるか、佐賀県工業技術センター食品工業部の分析機器を使い、細胞を使ったメラニン合成抑制試験の評価を新産業創出研究員が行った。また、生産性に優れた白イチゴ葉の収集と選抜も行った。
- ② 佐賀県産米を使用する県内酒蔵の酒粕で作る赤酢の呈味分析及び酒粕・酢の成分分析
- ・事業者名：ホンザン
  - ・確定額：221,000円
  - ・補助期間：令和元年8月26日から令和2年1月15日まで
  - ・研究概要  
佐賀県産米を使用する県内酒蔵の酒粕で作る赤酢について、他社商品との比較優位性を明示するために、呈味分析及び成分分析を佐賀県工業技術センター食品工業部の分析機器を使い、新産業創出研究員が行った。
- ③ 新規商品「一番搾り無添加醤油を使った大豆のお菓子」「佐賀県産大豆に沖縄産黒糖を使った黒蜜と佐賀県産大豆を使用した黄な粉を使った大豆のお菓子」の成分分析
- ・事業者名：(株)宮本邦製菓
  - ・確定額：223,000円
  - ・補助期間：令和元年9月13日から令和2年1月15日まで
  - ・研究概要  
(株)宮本邦製菓が開発した新商品である、「一番搾り無添加醤油を使った大豆のお菓子」「佐賀県産大豆に沖縄産黒糖を使った黒蜜と佐賀県産大豆を使用したきな粉を使った大豆のお菓子」の成分分析を行った。オリゴ糖・ミネラル・抗酸化活性・アミノ酸・イソフラボンの含量分析については、佐賀県工業技術センター食品工業部の分析機器を使い新産業創出研究員が行った。また、一般成分・食物繊維・カルシウムの含量分析については佐賀県環境科学検査協会に、葉酸・ビタミンEの含量分析については日本食品分析センターに依頼した。
- ④ 佐賀県鹿島市にて栽培されている国産品種宝韶寿(ほうしょうじゅ)レモンの安全性分析、及び外国品種マイヤーレモンとの有用成分の違いを探る
- ・事業者名：岡屋 Farm&ily
  - ・確定額：91,000円
  - ・補助期間：令和元年9月6日から令和2年1月15日まで
  - ・研究概要  
佐賀県鹿島市において栽培されている宝韶寿レモンは、市場から国産レモンがなくなる夏場の時期に出荷可能な希少品種である。宝韶寿レモンと外国品種マイヤーレモンとの有用成分の違いを探るために、佐賀県工業技術セン

ター食品工業部の分析機器を使い、新産業創出研究員が行った。また、宝詔寿レモンの安全性分析を株式会社食環境衛生研究所において行った。

## エ 農林水産物・食品等の機能性研究に係る予備的研究等助成事業

大学等研究機関に地域資源の機能性等に関する予備的研究を助成した。

- ・研究者：佐賀大学農学部 永尾晃治教授
- ・テーマ：「佐賀県産海藻クロメの新たな産業利用を目指した *in vivo* 機能性評価試験」
- ・助成額：1,000,000円
- ・助成期間：令和元年8月20日から令和2年1月15日まで
- ・研究概要
  - ①クロメ由来含水エタノール抽出物摂取が肥満モデルマウスの脂肪組織重量及び肝臓重量に及ぼす影響
  - ②クロメ由来含水エタノール抽出物摂取が肥満モデルマウスの脂肪肝・脂質代謝異常発症に及ぼす影響
  - ③クロメ由来含水エタノール抽出物摂取が肥満モデルマウスの2型糖尿病発症に及ぼす影響

## オ 機能性表示食品届出支援事業

県内事業者による消費者庁への機能性表示食品届出に係る必要な経費の一部を補助するもの。令和元年5月20日～令和元年6月14日に公募を行ったが、申請はなかった。

## カ 商品化・事業化

事業者名	商品名	販売開始時期
(有)フジサン	華雪花菜 (はなおから)	令和元年8月
山口製茶園(株)	「緑茶ミルク」「ほうじ茶ミルク」「ゆず茶はちみつ」3種のジェラート	令和元年8月
(株)種商	血圧サポート GABA 国産十六穀米	令和元年8月
(株)まんてん	ごまサブレ (抹茶味)	令和元年10月
宮島醤油(株)	ミヤジマ紫黒米酢	令和2年2月
(株)宮本邦製菓	一番搾り生しょうゆ大豆 黒蜜、きな粉、大豆	令和2年2月
ホンザン	赤鶴久	令和2年2月
大串製菓店	「ひしぼうろ」と「お茶」のセット販売	令和2年3月

## (11) 戦略的基盤技術高度化支援事業 [29,194,542円：国補助事業]

《担当部署：研究開発振興課》

国の競争的資金である当該事業に対し、新製品・新技術を志向する県内中小企業等からの申請、共同研究体制の構築等への支援を行ない、採択後の研究開発の推進及び事業管理を行い、研究の製品化から事業化支援までの一貫支援を行った。

## 【支援事業】

レーザ光高速走査・加工除去物の効率換気・搬送シートの連続加工によるエアバックの生産コスト低減を目的としたエアバック用シートのレーザ裁断装置の開発

○事業期間：平成30年度～令和2年度（3年間）

○総事業費（予定）：96,524千円（国補助金）

○実施体制：

・事業管理者（公財）佐賀県地域産業支援センター

・研究実施者 武井電機工業(株)（国法）佐賀大学、佐賀県工業技術センター

### ア 事業概要

従来のエアバックの裁断工程は、製品形状に沿ってレーザ出射部を走査し加工する。機械的な動作ではレーザ光の高速走査が困難で、処理能力を確保するため重ねて裁断する。そのため前後に重ねたり剥がしたりと人の作業を要し、オートメーション化できない。そこで、レーザ光の光学的な高速走査により搬送されるシートを裁断する技術確立し、ロール状のシート原反から自動で製品形状のシートを連続的に生産する加工機を開発する。

### イ 研究成果

- ・レーザ光学系の設計等裁断装置の基本仕様を作成し、調査・検討を実施した。
- ・裁断面の評価方法を検討し、品質を定量的に評価する方法を決定した。
- ・気流制御技術について、初期実験装置を用いて、基本データの取得を行う。

## (12) 佐賀県海外事務所設置・運営事業 [24,422,602円：佐賀県補助事業]

《担当部署：総務企画課》

国際化推進のために、佐賀県と連携して香港に設置した海外事務所の活動及び管理運営を行い、県内中小企業の海外展開の支援が実現できた。

なお、佐賀県海外事務所（香港）については、令和元年度末をもって閉所し、今後の香港・東南アジアにおける輸出支援活動は、さが県産品流通デザイン公社の「香港・東南アジアエリア輸出支援体制強化事業」にて引き継いだ。

## (13) 佐賀県海外事務所活動受託事業 [9,867,156円：佐賀県委託事業]

《担当部署：総務企画課》

中国に設置している海外事務所（香港）において、地域産業の発展に資する様々な国際関連の取組を現地で実施した。

県内企業からの相談対応や中国国内や東南アジア諸国の情報提供、商品のPR及び取引を実現等の支援を行ったが、香港の政情不安もあり思うようにできなかった。

### 1. 企業取引支援

- ① 産業系見本市、博覧会へ出展し、佐賀県ブースを設置するなどにより効果的なPRを図った。
- ② 海外展開を図る県内企業に対し、現地活動の支援や現地で収集した市場動向、ビジネス可能性、その他所要の情報について適宜提供するとともに、相談内容に応じて適切な機関・団体等の紹介を行った。

## 2. 県産品の輸出促進・販路開拓

- ① 有田焼等の焼物、工業製品、加工食品などの県産品について、現地百貨店バイヤーや輸入業者等、さらには消費者に対しPR活動を行った。
- ② 現地百貨店バイヤーや輸入業者等から得た有益な情報を県内中小企業等に提供するなど、輸出促進のための支援を行った。

## 3. 外国人観光客誘致促進

旅行会社やメディアとタイアップした観光客の誘致活動を行った。

## 4. 現地関係機関等からの情報収集及び収集した情報の提供

現地の政府機関や民間機関、さらには日本人や日系企業などによる任意団体などから、県内企業等からのニーズをふまえて様々な現地情報を収集し、県内企業等へ提供した。

## 5. 情報発信

ホームページの活用による上記に関する情報発信を行った。

## 2 設備投資支援、取引先拡大支援、人材育成支援及び情報提供による経営基盤の強化に関する支援（公2）

### 【事業の趣旨】

県内中小企業の振興を図るため、佐賀県内の経済及び雇用を実質的に支えている中小企業に対し、設備投資支援や取引先拡大支援、人材育成支援及び情報提供による経営基盤の強化に関する支援を行う。

### 【事業の構成】

本事業は、次の8の事業から構成される。

- (1) さが「きらめく」ものづくり産業創成応援事業（販路拡大補助事業）
- (2) さが「きらめく」ものづくり産業創成応援事業（生産性改善・高度化事業）
- (3) 設備貸与事業
- (4) 現場力向上支援事業（中小企業塾）
- (5) 知財総合支援窓口運営事業
- (6) 中小企業等外国出願支援事業
- (7) 佐賀県地域産業支援センター施設貸与事業
- (8) ものづくり AI・IoT 導入支援事業

### 【公2個別事業の内容】

#### (1) さが「きらめく」ものづくり産業創成応援事業（販路拡大補助事業）

[16,100,409円：佐賀県補助事業]

《担当部署：ものづくり振興課》

県内機械金属製造業・自動車関連企業を中心とした下請中小企業に対する受発注取引のあっせんを行った。また、受注機会の拡大、新規取引先の拡大のため、見本市等への製品・加工技術の展示の支援や当財団単独又は九州地区各支援機関等と共同して商談会を開催し、取引の拡大を支援した。

#### ア 販路拡大補助事業（展示会等出展補助事業）

県内ものづくり中小企業が、国内において開催される任意の展示会又は商談会に出展する際に要する経費の補助

- 採 択 企 業：13企業
- 補 助 限 額：70万円以下
- 補 助 率：1／2以内

#### 販路拡大補助事業概要内訳

(単位：千円)

助成事業者名	展示会名称（開催月）	出展した製品・技術	補助金確定額
(株)アイティーインペル	CareTEX 福岡（7月）	転落転倒徘徊防止システム 「見守りあんしんくん+eye」	486
森鉄工(株)	MF－東京 2019（7月）	ファインブランキングプレス	700

助成 事業者名	展示会名称（開催月）	出展した製品・技術	補助金 確定額
(株)フリーマム	第 88 回東京インターナショナルギフト・ショー秋 2019 (9 月)	男性スーツ専用デオドラントミスト KIELT (キエルト)	392
(有)忠兼総本社	第 88 回東京インターナショナルギフト・ショー秋 2019 (9 月)	日本初のイノシシ油 (ぼたん油)	370
文山製陶(有)	インテリアライフスタイル東京 (7 月)	自社ブランド「ceramic mimic fabric」サービングボール、ラウンドプレート (大)	700
武井電機工業(株)	名古屋オートモーティブワールド (9 月)	レーザ加工ユニット 【TLSU-series】	629
(株)Ever Food	第 14 回地方銀行フードセレクション 2019 (9 月)	佐賀県産 【和牛生ハム】 【SAGA ルージュ (赤鶏) 生ハム】	252
(株)東馬	IFFT インテリアライフスタイル 2019 (11 月)	東馬家具	390
(株)東洋セラミックス	第 88 回ギフトショー秋 2019 (9 月)	パン皿	646
鍋島 虎仙窯	大日本市 (9 月)	ティーポット球戯板 ・マスキング技法	372
(株)瀬兵	ギフトショー2019LIFE×ESING (12 月)	伊万里焼ペンダントルーペ	113
大栄工業(株)	エヌプラス～新たな価値をプラスする素材・技術の展示会～ (9 月)	画像検査装置、μ デッキパネル	205
宮崎鉄工(株)	粉体工業展大阪 2019 (10 月)	卓上式混練-真空押出成形機 FM-P20E 型	396
合 計			5,651

## イ 取引あっせん状況

登録企業数		申出件数		あっせん 件数	取引成立 件数	当初成立金額 (千円)
発注	受注	発注	受注			
214 (2) ※	563 (4) ※	183	300	300	34	42,614.60

※ ( ) 内は、令和元年度の新規登録企業数

ウ 令和 2 年版登録企業名簿の発行 1000 部

エ 発注開拓調査 年 2 回 (九州合同)

## オ 展示会・商談会の開催

- (ア) 展示会出展支援 1回 (出展企業 8社)  
 ・「第24回機械要素技術展」 (令和2年2月、千葉市、参加8社)
- (イ) 商談会開催・参加支援 9回 (県内参加企業 延べ124社)  
 ・「製造技術マッチングフェア」 (令和元年6月、北九州市、参加20社)  
 ・「第1回佐賀県受発注商談会」 (令和元年9月、佐賀市、参加22社)  
 ・「佐賀県 企業展示会 in ダイハツ九州(株)大分(中津)工場」 (令和元年9月、中津市、参加16社)  
 ・「九州自動車部品現調化促進商談会」 (令和元年10月、福岡市、参加1社)  
 ・「佐賀県 企業展示会 in ダイハツ九州(株)久留米工場」 (令和元年11月、久留米市、参加20社)  
 ・「九州7県合同広域商談会」 (令和元年11月、広島市、参加12社)  
 ・「九州新技術・新工法展示商談会 in トヨタ自動車」 (令和元年11月、豊田市、参加3社)  
 ・「久留米広域商談会」 (令和2年1月、久留米市、参加4社)  
 ・「第2回佐賀県受発注商談会」 (令和2年2月、佐賀市、参加26社)

## カ 下請かけこみ寺事業

下請取引に関する様々な問題を抱える県内中小企業者等の相談に応じ、問題解決に向けてのアドバイス等の支援を行うとともに、「下請振興法」、「下請代金等遅延防止法」等の周知や、「下請かけこみ寺事業」の周知活動を行った。

- ・相談件数 18件 (延べ18回のうち無料弁護士相談5回)

## (2) さが「きらめく」ものづくり産業創生応援事業(生産性改善・高度化事業)

[9,893,078円：佐賀県補助事業]

《担当部署：取引振興課》

県内ものづくり企業が「稼ぐ」ために取り組む販路拡大、生産性改善・高度化を応援し、本県におけるものづくり産業界の活性化を図り、「稼げる」ものづくり企業を創生するために下記の補助事業を実施。

### 生産性改善・高度化補助事業

県内ものづくり企業が、生産性の向上や生産設備の更新、生産環境のレイアウト変更を含む生産環境の改善を行うために要する経費を補助

- 採択企業：5企業
- 補助限度額：1,000千円以上 2,500千円以下
- 補助率：3分の2以内

### 生産性改善・高度化補助事業概要内訳

(単位：千円)

助成事業者名	事業名称	事業概要	補助金 確定額
株八雲製作所	特殊仕様ナットフィーダ導入による溶接工程の生産性改善と、工場の最適レイアウト(仕掛品の定置管理、定量管理)変更による生産性改善	特殊仕様のスポット溶接機及びフローティングラックを導入して、レイアウト変更による工程の半自動化を目指した事業	1,708

## 生産性改善・高度化補助事業概要内訳

(単位：千円)

助成事業者名	事業名称	事業概要	補助金 確定額
(株)太平プレテック	生産性向上によるプレス機械レイアウト変更	プレス機器 15 台をレイアウト変更し、トヨタ生産方式の「ムダ」排除に対応した事業	1,719
聖徳ゼロテック(株)	プレス作業環境における人と共存するロボットシステム構築	中小企業（プレス加工）が抱える多品種小ロット生産、災害リスク等の課題へ対応するため、人協調型ロボットを導入した事業	2,500
(株)原田鉄工	溶接技術を活かす移動工程改善による納期短縮と安全性向上	建築鉄骨製造ラインで、工程間時短・安全対策等相当な合理化を進めるため、作業工程間の移動を改善する運搬用台車の更新事業	2,120
(株)西村鐵工所	高性能ディスク型液体乾燥装置の製造における溶接ロボットの導入による生産性の改善	液体乾燥機（CDドライヤー）製造工程で将来ネックと考えられる高度技術者人員減少を見据え、スマートファクトリー化を図るため溶接ロボットを導入した事業	1,843
合 計			9,890

## (3) 設備貸与事業 [10,664,073 円：佐賀県貸付金／自主]

《担当部署：ものづくり振興課》

## ① 旧設備貸与事業

小規模企業者等設備導入資金助成法（昭和31年法律第115号）に基づき、小規模企業者等の創業及び経営基盤の強化に必要な設備の導入の促進のため、新たに導入する必要のある設備を当公益財団が代わって購入し、長期の割賦販売又はリース（賃貸）を行ってきた。

同法が平成25年3月31日で廃止されたことに伴い、平成27年3月31日をもって新規の割賦販売又はリース（賃貸）を終了し、以降は債権管理を行っている。

## ② 新設備貸与事業

平成27年4月1日より、独立行政法人中小企業基盤整備機構法に基づき、小規模企業者及び創業者で経営の革新を図るため、必要な設備の導入の促進のため、佐賀県から資金を借り受け、新たに導入する必要のある設備を当公益財団が代わって購入し、長期の割賦販売又はリース（賃貸）を行ってきた。

平成30年3月31日をもって新規の割賦販売又はリース（賃貸）を終了し、以降は債権管理を行っている。



**(4) 現場力向上支援事業 [20,916,113円：佐賀県補助事業]**

《担当部署：ものづくり振興課》

県内中小企業の現場力向上や生産性の向上等を目的に、4名のトレーナー（専門員）が企業を訪問し、現場改善に対する実地の支援や、県内中小企業全体の底上げのため、専門的なセミナーの開催や若手経営者・後継者への教育の実施、更に、経営安定のため新規取引先のマッチング活動支援を行った。

マッチング活動を除き、「佐賀県中小企業塾」として実施した。

《活動成果の概要》

① 4名のトレーナーによる支援先7社の支援内容。

	支 援 先	支 援 内 容
1	I M A R I 株	経営改善支援（経営会議・P D C A 定着）
2	(株)原ノ町鉄工	I S O 9 0 0 1 認証取得支援
3	森鉄工(株)	I S O 9 0 0 1 内部監査員教育
4	森永建設(株)	I S O 4 5 0 0 1 教育（労働安全衛生マネジメント）
5	(株)新永電機	生産性向上支援（ハーネス組立工程）
6	大坪産業(株)	工程改善支援（リサイクル工程）、5 S 教育
7	ヒノモトアブレーション(株)	5 S 教育

② 4名のトレーナーによる若手経営者・後継者教育のための「経営者塾」を実施。

※企業名の後に(経)は経営者、(後)は後継者が参加

	支 援 先	支 援 内 容
1	(株)AQUAPASS (経)	若手経営者・後継者を対象に、経営者として身につけるべき経営知識を学ぶ。 具体的には事業計画作成、中長期計画作成、PDCA サイクル、計画未達時の挽回策などの手法を学ぶ。 ○年間14回の実習を交えた研修会を実施。 ・第1ステップ 経営課題の分析 ・第2ステップ 具体的な対策 ・第3ステップ 進捗状況の確認 ・第4ステップ 成果報告、挽回策 など
2	(株)ガルト (後)	
3	(株)亀井製作所 (経)	
4	(株)宝山工業 (後)	
5	(有)アリアケ精機 (後)	
6	神埼工業(株) (後)	

③ 「現場力向上」のために実施した7回のセミナーの内容。

	テ ー マ	講 師	内 容	参加者
1	工程管理ツールの活用 セミナー R1.6.19	(株)ウェッवाई	工程管理ツール「工程's」を利用した工程管理手法を学ぶ。	27名
2	A I ツールの活用セミナー R1.7.23	(株)アドダイス	画像検査A I ツール「HORUS AI」を利用した検査精度向上手法を学ぶ。	20名

	テーマ	講師	内容	参加者
3	生産性向上セミナー R1. 8. 22	(株)安川電機 オークマ(株)	ロボット導入による生産性向上の事例、最新の省人化設備動向を学ぶ。	47名
4	I S O運用セミナー R1. 10. 4	(株)EQA 国際認証センター	審査員から見た効果的なI S Oの運用について学ぶ。	26名
5	なぜなぜ分析セミナー R1. 10. 10	クオリゲート 合同会社	プロセス改善のためのなぜなぜ分析手法を学ぶ。	40名
6	直動ガイド・ボールねじ基礎技術セミナー R1. 11. 13	THK(株)	機械要素の一つであるLMガイドやボールねじの基礎技術を学ぶ。	29名
7	HACCP セミナー R2. 2. 14	アース環境 サービス(株)	HACCP の制度化で実施しなければならぬことを学ぶ。	24名

④ 2名のトレーナーによるマッチング活動3件の新規受注内容。

No.	発注企業	受注企業	内容	金額(千円)
1	ダイハツ九州(株)	(株)カワセテック	ドア塗装用金具	3,890
2	(株)太平プレテック	ウツノミヤ(株)	エア配管変更工事	270
3	豊田合成(株)	(株)貞包鉄工所	逆ネジシャフト	10
合計				4,170

(5) 知財総合支援窓口運営事業 [35,293,386円：国機関等からの請負事業]

《担当部署：知財支援室》

中小企業等の知的財産に関する課題等の相談を受け付ける「知財総合支援窓口」において、商工団体、金融機関等との連携のもと、窓口支援担当が知財専門家（弁理士等）と協働するなどして、特許等の取得や活用に関する支援を行った。

○窓口支援担当者5名、事業責任者1名、副責任者1名、事務担当者1名

○支援件数 延べ 2,827件

知財トータルサポーターによる支援

・窓口での支援（地域産業支援センター内での支援） 1,486件

・訪問による支援（企業等での支援） 850件

専門家(弁理士、弁護士等)を活用した支援 491件

○知財区分別（2,827件）

商標 1,976件(70%)、特許 556件(20%)、実用新案 58件(2%)、  
意匠 169件(6%)、その他 68件(2%)

○相談者種別（2,827件）

中小企業 1,603件(57%)、個人事業主 771件(27%)、個人 71件(2%)、  
その他 382件(14%)

○業種別（2,827件）

製造業 1,146件(40%)、農林水産業 514件(18%)、

卸・小売業 327件(12%)、その他 840件(30%)

## (6) 中小企業等外国出願支援事業 [3, 443, 478 円 : 国補助事業]

《担当部署 : 知財支援室》

外国への事業展開等を計画している県内中小企業の特許等外国出願に対して支援を行った。

- 支援件数 6 企業 (特許 3 件・商標 6 件)
- 補助割合 出願に要する経費 (出願料、代理人費用、翻訳料等) の 1/2 以内
- 補助限度額 1 出願につき、特許 150 万円、意匠・商標等 60 万円など。  
(最大で 1 企業 300 万円まで)

支援企業名	出願内容	出願件数	補助金額 (円)
(株)石橋建築事務所	特許出願	1 件	1, 320, 000
(株)大橋	特許出願	1 件	495, 000
(株)大橋	商標出願	2 件	174, 000
小松酒造(株)	商標出願	2 件	189, 000
DRfactory(合)	特許出願	1 件	809, 000
光吉農産 (光吉健人)	商標出願	1 件	110, 000
宮島醤油(株)	商標出願	1 件	294, 000
計 6 企業		計 9 件	3, 391, 000

## (7) 佐賀県地域産業支援センター施設貸与事業 [6, 178, 986 円 : 佐賀県委託事業]

《担当部署 : 総務企画課》

佐賀県地域産業支援センターの指定管理者として、設置目的である技術の高度化、経営の効率化等企業の事業活動に対する支援に資するため、経費節減や利用者の満足度向上等に配慮しながら、管理運営を行った。

### ア 研修室貸出

- ・第 1 研修室利用承認件数 1 5 3 件
- ・第 2 研修室利用承認件数 1 1 1 件
- 計 2 6 4 件

### イ 研究開発室貸出

- ・入居審査会開催件数 2 件
- ・入居貸出件数 (年度末時点) 2 件

### ウ ビデオ貸出

- ・ビデオ貸出 7 8 巻

## (8) ものづくり産業 AI・IoT 導入支援事業 (新規)

[287, 614 円 : 全国中小企業振興機関協会補助事業 / 自主]

《担当部署 : ものづくり振興課》

ものづくり産業 AI・IoT 導入支援事業 (5 カ年計画) を実施するスタートアップ企画として、「AI・IoT 導入セミナー」を実施し、導入の必要性の啓発普及や導入希望企業の掘り起こしを行った。

【セミナー概要】

- 1 タイトル 「ものづくり産業 AI・IoT 導入支援セミナー」
- 2 日 時 令和2年2月13日（木）14時30分～17時00分
- 3 場 所 ホテルマリターレ創世 佐賀 4階 アテナ  
（佐賀県佐賀市神野東2-5-15）
- 4 参加者 企業37社-50名、個人2名、行政関連5機関-10名  
合計62名

テーマ	講師
産業界を取り巻く環境の変化に対応するために AI・IoT ツールをどう活用するか	クオリゲート合同会社 市原 嘉之
ものづくり IoT 導入・運用による生産性向上	(公財) 北九州産業学術推進機構 産学連携統括センター ものづくり革新センター 産学連携担当部長 白石 肇
ものづくり産業 AI・IoT 導入支援事業 概要説明	(公財) 佐賀県地域産業支援センター ものづくり振興課 木村 和久

### 3 県内中小企業の福利厚生充実を促進し、人材確保や定着化を図ることによる企業活力の維持・向上に関する支援（公3）

#### 【事業の趣旨】

中小企業単独で実施が困難な福利厚生充実を図ることにより、人材確保や定着化に資することを目的に、健康増進、自己啓発、余暇活動等の福祉サービスを提供。

事業対象：中小企業事業主及び当該中小企業の従業員（会員制）

#### 【公3個別事業の内容】

##### (1) 中小企業勤労者福祉サービスセンター事業

[36,340,581円／受取会費、佐賀県・県内市町・事業所負担金]

《担当部署：中小企業勤労者福祉サービスセンター》

##### ① 会員の状況

令和2年3月末時点で、事業所数266社、会員数2,650名であり、昨年度末の事業所数272社、会員数2,631名に比べ、事業所数6社減少し、会員数19名の増となった。

##### ② 事業実績

今年度の利用者数は9,111人（昨年度比27人減）、助成金額17,475千円（前年度比629千円増）となった。

##### ア 健康増進事業

会員の健康を増進するため、人間ドック・脳ドック・一般健診にかかる費用等に助成を行った。

特に、インフルエンザ予防接種の助成は、前年度652人に対して今年度は807名に助成を行った。

助成者数延べ1,398人、助成額4,320千円

##### イ 自己啓発事業

各施設を訪問し、サービスセンターの事業内容等を説明し、自己啓発事業を積極的に活動していることのPR活動を行ったが、利用がなかった。

助成者数0人（カルチャーセンター受講料）、助成額0円

##### ウ 余暇活動事業

会員等の余暇活動を支援するため、宿泊施設やレジャー施設等の余暇活動にかかる費用等に助成を行った。

助成者数延べ5,771人、助成額10,220千円

##### エ その他事業

野球観戦や食事券等の格安価格での販売、フラワーアレンジメント等を行った。新型コロナウイルス感染症の影響で利用人数及び助成額共に、前年度を下回った。

助成者数延べ1,942人、助成額2,935千円

#### 4 県内中小企業の事業主及び当該企業に勤務する従業員の在職中の生活を安定させるための支援（他1）

##### 【個別事業の内容】

##### （1）共済給付事業 [5,997,000 円／受取会費]

《担当部署：中小企業勤労者福祉サービスセンター》

会員である県内中小企業の事業主及び当該企業に勤務する従業員の在職中の生活安定を図るため、（一財）全国勤労者福祉・共済振興協会（以下「協会」という。）の共済制度を活用し、会員への各種慶弔給付を行った。

- ① 会員数167社、1,620名（令和2年3月末現在）
- ② 給付件数451件、給付額5,198千円

## 5 地域産業の高度化・新産業の創出、科学技術の振興を図るために企業や大学等が行うシンクロトロン光（放射光）を利用した研究に関する支援（公4）

《担当部署：九州シンクロトロン光研究センター》

### 【事業の趣旨】

佐賀県立九州シンクロトロン光研究センターの指定管理者として施設を運営し、企業や大学等が行うシンクロトロン光（放射光）を利用した研究支援等を行うことにより、地域産業の高度化、新産業の創出及び科学技術の振興に寄与する。

### 【公4 個別事業の内容】

#### （1）佐賀県立九州シンクロトロン光研究センター運営事業

[554,905,598 円：佐賀県委託事業等]

#### ア 施設貸与・利用支援

実験研究施設・設備の利用を通じて、企業、大学、公的研究機関が行うシンクロトロン光（放射光）を利用した研究開発への支援を行った。

企業や大学等の利用に供する県有ビームラインについて、利用者に対して支援を行う他、測定装置の充実等によって利用環境を拡充するとともに、企業や大学の若手研究者を対象としたセミナーを開催するなど、利用促進を図った。併せて、産業利用コーディネーターが、県内企業等を訪問して、放射光利用を含め企業の持つ課題解決の支援を行った。

このことにより、県有ビームラインの利用実績は、169 件 3,260.0 時間となった。

#### ○利用内訳

件数：169 件（企業 74 件、大学 78 件、公設試 17 件）

時間：3,260 時間（企業 1,080.5 時間、大学 1,751.5 時間、公設試 428 時間）

#### ○利用種別

種別	件数	時間数
素材・原料	40	997.5
電子デバイス	57	956.0
資源・環境	25	412.5
エネルギー	17	340.0
ディスプレイ	7	162.0
農林水産・食品	9	129.0
バイオメディカル・健康	4	97.5
微細加工	3	50.5
その他	7	115.0
合計	169	3,260.0

#### ○産業利用コーディネート活動

企業訪問：227 件、支援：17 件、利用：10 件

## イ シンクロトロン光の研究・普及

光源加速器やビームライン設備の性能向上や測定技術開発等のための試験研究、産学官の各機関との共同研究、科学研究費補助金等の外部資金を用いた研究を実施して、そこから得られた新たな知見等の成果の普及等を行った。

また、施設の一般公開や各種展示会への出展、ホームページ等を通じて、施設概要・研究成果の紹介や最先端の科学技術に関する情報発信を行った。さらに、サマースクールの開催やインターンシップを受け入れ、未来を担う若者の人材育成を図った。

### ○研究成果報告会・学会

- ・第13回九州シンクロトロン光研究センター研究成果報告会  
佐賀県立九州シンクロトロン光研究センター 参加者 92名
- ・第33回日本放射光学会年会・放射光科学合同シンポジウム参加  
ウイנקあいち（愛知県産業労働センター）

### ○人材育成・広報啓発等

- ・サマースクール 2019（大学院・企業等の若手研究者：参加者 24名）
- ・インターンシップ受入（久留米工業高等専門学校：3名、鳥栖商業高校：1名）
- ・一般公開（参加者 362名）
- ・施設見学（参加者 843名）
- ・nano tech 2020 出展
- ・第33回日本放射光学会年会出展
- ・九州・沖縄産業技術オープンイノベーションデー出展
- ・Spring8 産業利用報告会参加
- ・産業（企業）利用支援セミナー（2回：参加者 43名）
- ・実験ホール見学会（参加者 14名）
- ・SAGA ものすごフェスタ 2019 出展（参加者 432名）
- ・Web Magazine 発行（4回）
- ・「工業材料」（日刊工業新聞社）への広告掲載

## (2) 先端研究基盤共用促進事業

[1,567,500円：国委託事業]

大学、独立行政法人等が有する先端研究施設（シンクロトロン放射光施設6機関とレーザー施設2機関）で構成される「光ビームプラットフォーム」に参画し、全国的な視野で利用情報の発信、共通技術の開発、人材交流等を行い、利用者の利便性向上や裾野の拡大に取り組んだ。

### ○光ビームプラットフォーム運営体制の構築

運営会議出席、広報活動等（ホームページ更新）

### ○各施設による利用支援

支援事例の紹介・共有など

### ○ワンストップサービスの設置・運営

積極的な他機関の斡旋紹介、施設横断検索システムの運用

### ○人材育成

シンポジウム 2020 参加



- ノウハウ・データの蓄積・共有、利用システムの標準化、技術の高度化に向けた利用支援
  - 標準試料のデータ収集実験の実施・参加 など

## 6 農林水産物、加工食品等県産品の販売強化や販路開拓に関する支援 (公5)

《担当部署：さが県産品流通デザイン公社》

### 【事業の趣旨】

地域産業の振興を図るため、県産品（農林水産物、加工食品等）を扱う県内中小・零細事業者等を支援して県産品の販売促進を行うことを目的としている。

### 【事業の構成】

本事業は次の12事業から構成される。

- (1) 県産品情報発信力強化事業
- (2) 佐賀のよかもんリレーションシップづくり事業
- (3) 原産地呼称管理制度運営事業
- (4) SAGA BAR 展開事業
- (5) 大都市圏販売強化支援事業
- (6) 物産振興支援事業
- (7) 佐賀空港における県産品のPR・販売促進及び観光情報発信事業
- (8) 県産品海外リサーチ・アンド・トライ事業
- (9) 海外市場における佐賀ブランド確立事業
- (10) 佐賀ん酒ブランド化支援事業
- (11) 香港エリア輸出支援事業
- (12) 伝統工芸品等プロモーション事業

### 【公5個別事業の内容】

#### (1) 県産品情報発信力強化事業 [24,042,233円／佐賀県補助事業]

佐賀県産品の認知度および評価向上を図るため、HPやSNS、メディアを活用した情報発信を行った。

ア HPやSNSなどを活用した情報発信

SNS「さがぴん」のフォロワーは1.5万人となった。(令和2年3月31日現在)

イ メディア露出の獲得に向けた効率的なイベント

SAKURA CHILL BAR 2020 by 佐賀及びASIA'S 50 BEST RESTAURANTS 2020を3月中旬に開催予定だったが、新型コロナウイルス対応のため延期及び中止となった。

ウ バイヤーや消費者の興味関心を引き出すための商談会や販売会

10月31日～11月4日に、2019佐賀インターナショナルバルーンフェスタ「うまかもん市場」において、事業者16者によるPR販売を行った。

#### (2) 佐賀のよかもんリレーションシップづくり事業

[5,036,048円／佐賀県補助事業]

佐賀県産青果物の継続的かつ安定・向上的な取引を図るため、試食宣伝販売及び産地招聘を実施した。

ア 旬の青果物の試食販売について、首都圏においては澤光青果の店舗にて開催。

5月からのべ118回開催。

また、関西地区においてはライフコーポレーションの店舗にて開催。

11月からのべ9回開催。

イ 澤光青果の仕入担当者及び東京青果担当者を産地に招聘。

(令和2年2月18日～19日)

### (3) 原産地呼称管理制度運営事業

[4,067,872円／佐賀県補助事業]

佐賀県原産地呼称管理制度に基づいて認定された純米酒・本格焼酎である「The SAGA 認定酒」の認知度向上・普及拡大のため、試飲会等のイベント及び酒質向上に向けた研究会を実施した。

- 吟醸酒研究会 (5月)
- 東京での試飲会開催 (6月)
- 大阪での試飲会開催 (7月)
- 佐賀酒で乾杯プロジェクト (10月)

### (4) SAGA BAR 展開事業

[9,191,164円／佐賀県補助事業]

佐賀酒をはじめとした佐賀の美味しいものを気軽に楽しめる場を創出することにより、佐賀の「本物」を体感してもらい、県産品の認知度向上及び販売促進を図った。

ア 佐賀駅構内に「The SAGA 認定酒」や佐賀海苔等の県産品を気軽に味わえる「SAGA BAR」をクリエイターと連携し、設置・運営した。

### (5) 大都市圏販売力強化支援事業

[45,521,761円／佐賀県補助事業]

県産加工食品の大都市圏への販路開拓・拡大を図るため、県内事業者の企画力や商品開発力の向上、並びにマッチング支援、新たなチャネル開拓、営業活動支援などを行った。

ア 県・市町・商工団体・銀行等の関係機関で構成された“販路開拓支援ネットワーク連絡会”を通じて、関係機関間の連携強化を実施。

- 第1回会議 (4月開催：39機関55名参加)
- 分科会
- 「事業者同士のネットワーク構築会議」(1月開催：51名参加)

イ 各種セミナーを開催し、ブラッシュアップ支援を行うことで、県内加工食品メーカーのスキルアップ等を図った。

- 「食品の戦略的販路開拓セミナー」(4月開催：38社・団体49名参加)
- 「流通&デザインセミナー」(計3回開催：延べ79社101名参加)
- 「食品表示セミナー」及び個別相談 (1月開催：計106名参加)
- 専門家等のアドバイスを通じた既存商品のブラッシュアップ、販路開拓等の取組支援。(5社参加)

ウ 県内加工食品メーカーと小売・卸のバイヤー等の商談機会を提供

- 佐賀県特産品商談会 (10月開催：107社出展、170社379名来場)
- フードストアソリューションズフェアでの県ブース出展 (7月：13社出展)
- スーパーマーケット・トレードショーでの県ブース出展 (2月：26社出展)

エ 各種フェア・イベントの開催

大消費地である大都市圏の量販店やインターネット通販サイトで佐賀県フェアを実施し、県産品の販売などのPR活動を実施。

オ 食品卸売企業への提案

問屋（卸売企業）の機能（営業・商品管理・物流等）を活用した県産品の提案、商談活動を行い、県内事業者の営業活動を支援。

カ 首都圏の店舗を活用したテストマーケティングの実施

全国のこだわりの商品を揃える首都圏の店舗において、一定期間、商品を販売（テストマーケティング）し、バイヤーや消費者の評価を得て、県内事業者へフィードバックを行った。

- 開催店舗：AKOMEYA in la kagu（東京都新宿区矢来町 67 番地）
- 開催期間：令和元年 6 月～令和 2 年 3 月 20 日

**（6）物産振興支援事業**

**[3, 955, 433 円／佐賀県補助事業]**

百貨店、量販店等で開催される物産展等に県内事業者等を斡旋するほか、大手卸等の取引窓口として佐賀県物産品の販路拡大を図った。

ア 百貨店、量販店等で開催される「九州物産展」や「佐賀フェア」などの企画に積極的な提案による県内事業社の斡旋、広告媒体等による佐賀県の認知度向上の取組の実施

イ 大手卸等と直接取引のできない県内食品メーカーを対象とした、取引に際しての窓口として受発注・請求・支払等の業務の実施

斡旋実績全 64 回（九州地区 17 回・関西中部地区 7 回・関東以北 40 回）

**（7）佐賀空港における県産品 PR・販売促進及び観光情報発信事業**

**[31, 159, 735 円／佐賀県・佐賀市委託事業／手数料他]**

九州佐賀国際空港内にテナントショップを設置し、県産品の展示・紹介・販売、情報の提供を行うことにより、県内産業の振興を図った。併せて、佐賀市内の観光や産品の情報発信を行い地元産品の販売促進を図った。

ア 県産品 PR・販売促進事業として、県産品の PR・販売、情報提供、特設コーナーの設置・運営等の実施

イ 佐賀空港内販売所観光情報発信事業として、佐賀市内の観光情報及び地元産品の情報発信の実施

- 売上：50, 215, 853 円 前年比 96. 5%
- 購入客数：32, 785 人

**（8）県産品海外リサーチ・アンド・トライ事業**

**[21, 343, 080 円／佐賀県補助事業]**

県産品の海外への販路拡大を図るため、海外バイヤーの招へいや新規市場調査を行った。

ア 佐賀県産品中国販路拡大支援事業の実績

- 現地モニタリング（5 月）
- 企業の個別訪問セールス（6 月、12 月）
- 中国飲料取扱企業の招聘、商談（6 月）
- 輸入商社、輸入卸事業者の招聘、試飲会の実施（7 月）
- テスト販売（10 月、11 月）

イ 新規市場調査等の実績

- 中国、東南アジア向け輸出に係る酒バイヤーと蔵元とのマッチング（5 月）
- 中国大手 EC サイトの酒バイヤーと蔵元とのマッチング（7 月、10 月）

- アメリカ・EU向け輸出に係る焼酎バイヤーと蔵元とのマッチング（7月）
- 台湾食品市場調査（7月）
- シンガポール輸入卸業者等訪問、フォローアップ、市場視察（8月）
- ドイツ・ポーランド視察（9月）
- オーストラリア酒市場調査、試飲会の実施（9月）
- 中国大手ECサイトのバイヤーと加工食品事業者とのマッチング（10月）
- 中国日本酒セミナー及び試飲会参加、輸入商社等訪問（11月）
- 中国酒輸入業者のアテンドと蔵元との商談（12月）
- 加工食品輸出セミナーの開催（8月、2月）
- 農産物輸出セミナーの開催（2月）
- フィリピン日本酒輸入卸業者等訪問、酒セミナー視察（2月）
- アメリカ酒市場視察、輸入卸事業者等との意見交換（2月）

**（9）海外市場における佐賀ブランド確立事業** [3,537,961円／佐賀県補助事業]

プロ向けの大規模商談会や個別訪問による商談を実施するとともに、一般消費者の認知度向上を図るため、香港初の佐賀厳選食材を扱うレストラン「佐楽」での県産品PRイベントにキー・オピニオン・リーダーらを招待し、SNSを通じた情報拡散を行った。

- 佐賀酒商談会（10月）
- 県産品PRディナーイベント（10月）
- 個別訪問による商談（農産物、加工食品）（10月）

**（10）佐賀ん酒ブランド化支援事業** [16,048,618円／佐賀県補助事業]

佐賀県酒造組合が実施するフランスでの佐賀酒ファンの創出及び佐賀酒の販売促進活動を支援した。

- 佐賀酒PRに係る統一デザインの制作
- 各銘柄のフランス語酒カードの制作
- フランスディストリビューターと蔵元とのマッチング
- JETRO パリ主催酒商談会出展（7月）
- サロン・グルメセレクション（パリ）への出展（9月）
- カフェにおけるフレンチと佐賀酒のマリアージュイベントの開催（9月）
- 寿司レストランにおける和食と佐賀酒のペアリングディナーイベントの開催（9月）
- パリ市内小売店等における佐賀酒の営業活動（9月～12月）
- サロン・デュ・サケ（パリ）への出展（10月）
- ピュドロ（パリ）への出展（10月）
- セボテル（ナント）への出展（10月）
- ルマン地方フレンチレストランへの佐賀酒の営業活動（10月）
- ディジョン地方ワインショップにおける佐賀酒試飲会及び販売会（11月）
- フランス日本食情報誌記者の県内アテンド（11月）
- 南フランスディストリビューターの招聘（12月）
- フランスディストリビューターの招聘（12月）
- マルセイユ市内レストランにおける佐賀酒イベント（2月）
- フランスディストリビューター等の招聘（2月）

**(11) 香港エリア輸出支援事業****[514,940円／佐賀県補助事業]**

香港の食品市場に係る輸出環境の変化や輸出相手国の県産品に対するニーズについての情報収集や調査を実施した。

## ○ 情報収集及び調査項目

- (ア) 香港におけるトレンド情報の収集
- (イ) 主要店舗における県産品の商品進出状況調査
- (ウ) 主要店舗、飲食店等の催事開催状況等調査
- (エ) 食品・流通関係の商談会やPRイベント情報の収集

**(12) 伝統工芸品等プロモーション事業****[2,951,000円／佐賀県補助事業]**

国・県指定の伝統工芸品をはじめとする佐賀県の伝統工芸品等の認知度向上を図るために、県内において話題性の高い、伝統工芸品と食品の一体的な体験イベントを実施した。

- 場 所 佐賀県庁地下1階 SAGA CHIKA
- 日 程 令和2年1月20日（月）から2月3日（月）まで13日間
- ターゲット 佐賀県在住の若年層
- 内 容
  - ・ 伝統工芸品を使った激辛メニューの販売
  - ・ メニューと伝統工芸を紹介する冊子の設置、配布
  - ・ 伝統工芸品のワークショップ展開
  - ・ 店内の空間装飾
  - ・ 佐賀の伝統工芸品の展示販売
  - ・ 佐賀県内のイベントとのコラボ

## 7 その他県産品販売支援に関する支援（他2）

《担当部署：さが県産品流通デザイン公社》

### 【他2の個別事業の内容】

#### （1）関係協議会等との連携推進事業 [15,799,376円／自主・佐賀県補助事業]

県産品の販路開拓、情報発信など販売促進について、関係協議会（県・市町・関係団体等）等と連携、協力して推進するとともに、協議会事務局の運営を行った。

### 【参考】関係協議会等

#### 佐賀県農林水産物等輸出促進協議会

海外市場における佐賀ブランドの確立に取り組み、高品質な県産農林水産物等の輸出促進を図る事業を支援した。

##### ○輸出入関係者やシェフ等の招聘事業

- ・シェフ、食肉関連事業者招聘（香港、マカオ、タイ、フィリピン、シンガポール）等

##### ○海外での販売促進活動

- ・ホテル・飲食店での牛肉フェア（シンガポール、香港、マカオ）
- ・青果物の見本市への出展（香港）
- ・加工食品の飲食店等に対する個別営業及び飲食店でのディナーイベント（香港）
- ・スーパーでの青果物及び加工食品フェア（香港）
- ・クッキングスタジオでの牛肉及び青果物プロモーション（シンガポール）等

## 8 収益に関する事業（収1）

《担当部署：さが県産品流通デザイン公社》

### 【事業の趣旨】

ふるさと納税に関する事業及び農林水産物、加工食品等県産品の販売事業により収益向上を目指した。

### 【収1個別事業の内容】

#### （1）ふるさと納税に関する事業及び県産品の販売事業

[5,770,088円／自主・佐賀県委託事業]

県のふるさと納税の返礼品に関わる受発注業務や、事務所等における県産品の販売を通して、収益の向上を目指した。

ア ふるさと納税制度を利用した寄付者に対し、お礼の品（県産品）の受発注から商品到着までの管理確認及び支払業務等の実施

イ さが県産品流通デザイン公社の事務所における県産品販売

ふるさと納税 ○発送件数：4,942件  
○収入額：6,194,200円



## 第3 庶務事項

### (1) 理事会

年月日	内 容		
H 3 1 . 4 . 1	第1回理事会 (書面)	第1号議案 第2号議案 第3号議案 第4号議案	九州シンクロトン光研究センター担当業務執行理事選定及び所長として重要な使用人選任の件 さが県産品流通デザイン公社担当業務執行理事選定及び所長として重要な使用人選任の件 評議員候補者の推薦の件 評議員会の招集の件
R 元 . 6 . 7	第2回理事会	第1号議案 第2号議案	平成30年度の事業報告、計算書類及びそれらの附属明細書並びに財産目録の承認の件 評議員会の招集の件
R 元 . 9 . 1 7	第3回理事会 (書面)	第1号議案 第2号議案 第3号議案	令和元年度事業計画及び収支予算の変更の件 財産の一部処分の件 評議員会の招集の件
R 元 . 1 2 . 2	第4回理事会 (書面)	第1号議案 第2号議案	評議員候補者の推薦の件 評議員会の招集の件
R 2 . 1 . 2 3	第5回理事会	第1号議案 第2号議案 第3号議案	財産の全部処分の件 令和元年度事業計画及び収支予算の変更の件 評議員会の招集の件
R 2 . 3 . 1 3	第6回理事会	第1号議案 第2号議案 第3号議案 第4号議案 第5号議案	令和2年度事業計画及び収支予算の件 一時借入金最高限度額の件 公益目的事業等の変更認定申請手続き及び申請書類等の補正を理事長に一任する件 定款変更の件 評議員会の招集の件

## (2) 評議員会

年月日	内 容		
H 3 1 . 4 . 1	第 1 回評議員会 (書面)	第 1 号議案	評議員の選任の件
R 元 . 6 . 2 5	第 2 回評議員会	第 1 号議案	平成 3 0 年度決算の計算書類及びそれらの 附属明細書並びに財産目録の承認の件
R 元 . 9 . 1 7	第 3 回評議員会 (書面)	第 1 号議案	財産の一部処分の件
R 元 . 1 2 . 2	第 4 回評議員会 (書面)	第 1 号議案	評議員の選任の件
R 2 . 1 . 2 3	第 5 回評議員会 (書面)	第 1 号議案	財産の全部処分の件
R 2 . 3 . 2 5	第 6 回評議員会	第 1 号議案 第 2 号議案	令和 2 年度事業計画及び収支予算の件 定款変更の件